

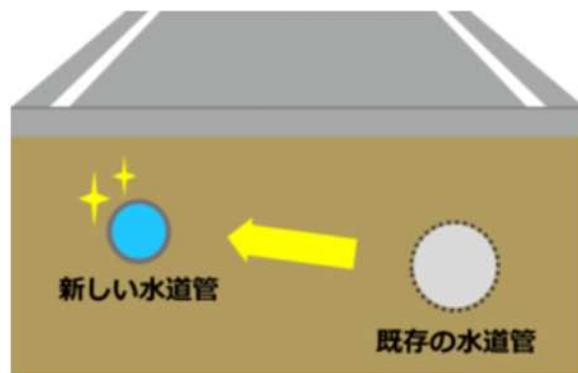
限りある財源の中で効果的に事業を進めるための取組

御提案内容

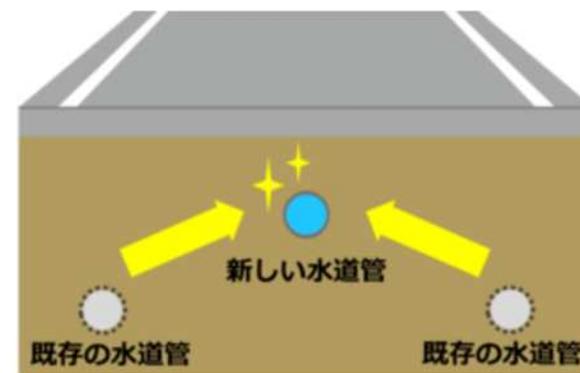
適切な管口径へのダウンサイジングの検討方法

横浜市水道局では、

横浜市の給水量は、人口減少や節水により減少傾向にあります。水道管を更新する際は、給水に影響がない範囲で、水道管の規模をダウンサイジングしてコスト削減に努めています。ダウンサイジングの方法には、既存の水道管より細い水道管に更新する方法や、同一路線上に水道管が2本ある場合に1本に集約し距離を短くする方法などがあります。



既存より細い水道管に更新



2本の水道管を1本に集約

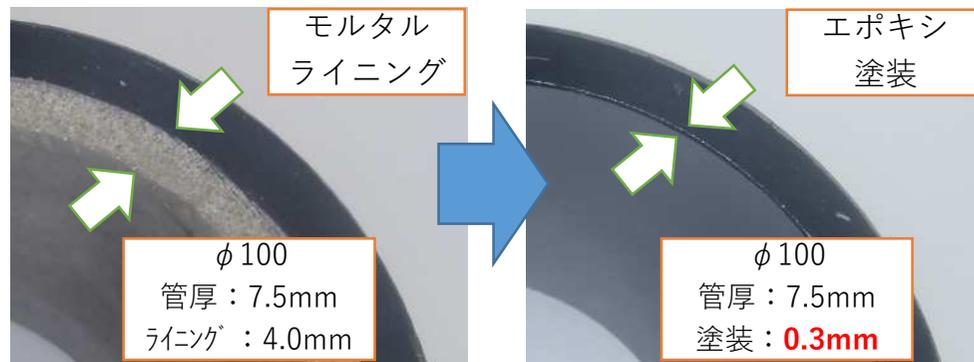


【内容】

横浜市水道局では、限りある財源の中で効果的に事業を進めるため、管口径のダウンサイジングによる工事コストの縮減に取り組んでいます。

ダウンサイジングに資する具体的な取組として、ダクタイトル鑄鉄管の内面塗装や流速係数C値の見直し、消火栓の設置口径をφ75mmとするなどを行いました。その上で、管網解析による口径検討、さらに、解析結果を検証するため、必要に応じて現地水圧を確認しています。

これらの取組を通じて得た多くのノウハウを提供することによって、給水量や料金収入が減少する状況においても、適切な管口径へのダウンサイジングによるコスト削減ができるよう支援いたします。



ダクタイトル鑄鉄管の銘面塗装の見直し（モルタルライニング⇒エポキシ塗装）

【支援方法】

○管路のダウンサイジングについての資料提供
ダウンサイジングに関する資料をご提供いたします。

≪資料例≫

口径検討事例

ダクタイトル鑄鉄管の内面塗装見直しに係る
検討資料 etc...

○管路のダウンサイジングについての研修
管路のダウンサイジングに関してご説明いたします。

御要望に沿った内容で実施いたします。まずは御相談ください。

(問合せ先)

首都圏水道事業体支援プラットフォーム事務局

東京都水道局多摩水道改革推進本部調整部 経営改善課国内貢献施策推進担当

TEL : 042-548-5361 FAX : 042-521-5141

メール : tamasuidou@waterworks.metro.tokyo.jp

